

Y31b

一家に1枚 宇宙図 2013

小阪淳, 高梨直紘 (東京大学), 縣秀彦 (国立天文台), 片桐暁, 亀谷和久 (東京理科大学), 川越至桜 (東京大学), 日下部展彦, 高田裕行, 内藤誠一郎, 成田憲保, 平松正顕 (国立天文台), 山岡均 (九州大学), 「一家に1枚 宇宙図 2007」制作委員会

「一家に1枚 宇宙図 2007」は、2007年に文部科学省、日本天文学会天文教材委員会の監修の下で、「一家に1枚 宇宙図 2007」制作委員会によって制作されたポスターである (<http://www.nao.ac.jp/study/uchuzu/>)。宇宙に対する理解を深めると同時に、宇宙の新しい楽しみ方を発見してもらう目的で制作されており、2007年度に全国の学校や教育普及施設に配られた。その後も、科学技術広報財団によって販売が行われており、現在でも年間5,000枚程度が頒布されている。

「一家に1枚 宇宙図 2007」制作委員会では、2007年に宇宙図を発表して以降、研究の進捗に合わせて少しずつ改訂を行ってきたが、今回、大幅な改訂を行ったので、その内容について報告する。改訂は、従来の宇宙図の枠組み内での文章や画像の差し替えに留まらず、宇宙図で表現される宇宙の枠組みそれ自体についても更新を行っている。本講演では、どのような点において宇宙図が新しくなったのか、その背景にあった議論も含めて紹介する。